

スキー場における新型コロナウイルス対応チェックリスト

1. チェックリストの位置づけ

スキー場における新型コロナウイルス対応ガイドラインの適切な運用を図るためにこのチェックリストを作成した。事業者におかれては、それぞれの事業形態に即してこれを参考にさせていただきたい。なお、所謂ルーティンオペレーションについては、①接触感染のリスク、②飛沫感染のリスクの観点から点検を行い、それぞれの施設に応じた具体的なチェックリストを作成し、日々、ルーティンとして消毒、清掃等を行うことが望ましい。

2. チェックリストを導入するメリット

チェックリストを導入することで感染リスクを下げるのが可能であり、経営リスクも減少し、来場者も安心して安全に利用することができる。新型コロナウイルスが持続する中では、利用者が安全と安心を求めており、その要求にこたえることにより、利用者に選ばれるスキー場となり継続的な営業が可能となる。

3. 新型コロナウイルス感染防止の考え方

新型コロナウイルス感染症は、適切な感染防止対策を行えば、感染リスクを減らすことができる。しかし、新型コロナウイルスの特性上、感染リスクをゼロにすることはできないため、感染が起こることを想定して感染防止対策を取ってゆく。

4. チェックリストの構成

チェックリストは、主な感染経路である接触感染と飛沫感染及び従業員対策に分け、主要な感染防止対策をリストアップした。事業者におかれては、これを参考にそれぞれの事情を踏まえたチェックリストを作成され感染防止対策を図られることを望む。

チェックリスト

接触感染防止対策

- 施設の入口など必要箇所に消毒液を設置する。
- 手洗いや手指消毒の徹底を図る。
- 複数の人が手を触れる場所を定期的に消毒する。
- レンタルについては適切に洗濯、消毒する。
- ユニホームはこまめに洗濯する。
- チケット、金銭等の受け渡しは非接触型に努める。
- 料理についても、例えば取り皿に取り分けて提供する等感染防止に努める。

飛沫感染防止対策

- マスク等を着用する。
- 一定の対人距離が保てるよう配慮する。
- チェックイン、チェックアウト時や、受付時、搬器の乗車時など、密にならないよう配慮する。
- 屋内、箱型搬器について換気に努める。
- レジ等には、飛沫防止シートを設置する。
- 所謂感染リスクが高まる「五つの場面」にある飲食の際の注意事項を利用者に案内する。

従業員対策

- 個人でできる健康管理を徹底する。
- 始業時に健康状態の確認を行う。
- 体調のすぐれない従業員は、直ちに責任者に連絡を取り、その指示に従う。
- 家族に感染者や感染の疑われる者がいる場合は、出勤を見合わせ、最寄りの医療機関に連絡を入れ、その指示に従う。